

会 議 録

会議の名称	第1期第1回小金井市行財政改革審議会		
事務局	企画財政部企画政策課企画政策係		
開催日時	令和5年1月17日（火）午後7時00分～午後8時03分		
開催場所	市民会館 萌え木ホール		
出席者	委員	黒崎 晋司 会長、大谷 基道 副会長、 高橋 良一 委員、横須賀 周平 委員、是枝 嗣人 委員、佐島 規 委員、 八木 尚子 委員、中村 彰宏 委員、深澤 良彦 委員、矢向 潤 委員	
	事務局	市長 白井 亨、企画財政部長 天野 建司 行政経営担当課長 平野 純也、企画政策係主査 森 純也	
欠席者	なし		
傍聴の可否	ⓐ ・ 不可 ・ 一部不可	傍聴者数	1人
会議次第	別紙1のとおり		
会議要旨	別紙2のとおり		
提出資料	<p>事前配付 小金井市行財政改革2025 小金井市第10期行財政改革市民会議答申 小金井市DX推進全体方針</p> <p>当日配付資料</p> <p>資料1 小金井市行財政改革審議会条例 資料2 小金井市行財政改革審議会委員名簿（暫定版） 資料3 本市の経営状況と行財政改革の概略 資料4 小金井市行財政改革審議会の運営等について（案） 資料5 小金井市市民参加条例・小金井市市民参加条例施行規則（抜粋） 資料6 小金井市附属機関等の会議に関する傍聴要領 資料7 小金井市行財政改革審議会審議の主な審議事項について（予定） 資料8 小金井市行財政改革審議会開催スケジュール（案）</p>		

## 別紙 1

### 第 1 期第 1 回小金井市行財政改革審議会 次第

日時 令和 5 年 1 月 1 7 日 (火)  
午後 7 時から  
場所 萌え木ホール A 会議室

- 1 委嘱状の交付
- 2 市長あいさつ
- 3 委員の自己紹介及び事務局の紹介
- 4 会長及び副会長の互選
- 5 会議の運営について
- 6 その他

#### ※ 配付資料

事前配付 小金井市行財政改革 2 0 2 5  
小金井市第 1 0 期行財政改革市民会議答申  
小金井市 D X 推進全体方針

#### 当日配付資料

- 資料 1 小金井市行財政改革審議会条例
- 資料 2 小金井市行財政改革審議会委員名簿 (暫定版)
- 資料 3 本市の経営状況と行財政改革の概略
- 資料 4 小金井市行財政改革審議会の運営等について (案)
- 資料 5 小金井市市民参加条例・小金井市市民参加条例施行規則 (抜粋)
- 資料 6 小金井市附属機関等の会議に関する傍聴要領
- 資料 7 小金井市行財政改革審議会審議の主な審議事項について (予定)
- 資料 8 小金井市行財政改革審議会開催スケジュール (案)

## 別紙 2

### 第 1 期第 1 回小金井市行財政改革審議会 会議録

(午後 7 時 0 0 分開会)

#### ◎企画財政部長

第 1 回小金井市行財政改革審議会を開会します。本日は 1 0 人中 1 0 人に御出席いただいております、定足数を満たしています。また資料は、事前配付 3 点で、当日配付資料は 8 点です。

次第 1、委嘱状の交付は、コロナ禍の観点から机上交付とします。

次第 2、市長挨拶。

#### ◎白井市長

本日は、小金井市第 1 期行財政改革審議会の委員をお引き受けいただき感謝申し上げます。

皆様に御審議いただく行財政改革は、市民福祉の向上と魅力あるまちづくりのために必要な経営戦略であり、これについて御審議、御議論いただくことになります。

小金井市は都市部の自治体であり、まだ比較的裕福だと言われていますが、実際の財政状況は非常に厳しい状況にあります。地方では、高齢化率が 5 0 % を超えているような自治体もあり、都市部よりも厳しい状況にあると思いますが、都市部では、より多様な市民サービスの要請に応じていく必要があります、それらに中々応えられていないというのが実情です。これは小金井市のみならず、この周辺自治体も同様な状況です。

本市の人口は、ずっと微増傾向でありましたが、人口減少社会へと移行するトレンド自体は、本市においても現実味を帯びてきています。

全国的に出生数が減っているというニュースは、皆様御存じだと思いますが、より厳しい市政運営が予想される中において、行財政改革になお一層、取り組んでいかなければなりません。

このような社会情勢を踏まえ、令和 4 年 8 月に行財政改革 2 0 2 5 を策定しました。これは前身である市民会議の皆さんに御尽力いただき、これまでの本市の行財政改革のプランとは一線を画すような、チャレンジングな内容、アウトプットとなっています。

審議会の皆さんには、この行財政改革 2 0 2 5 の進捗確認を

通じて、行政経営上の様々な課題についてご協議いただき、行財政改革を進める厳しい局面で、しっかり後押しをお願いしたいと考えています。

私自身は、昨年11月の市長選挙において、市民の皆さんから御信任を賜り、市長として市政運営のかじ取りを任せていただくことになりました。新しい時代を切り開くためにも、行財政改革に更に本気で取り組んでいきたいと考えているので、どうぞ皆様のお力を貸していただきたい。よろしく申し上げます。

◎企画財政部長

次第3、委員の皆様にご自己紹介をお願いします。

(各委員自己紹介)

◎企画財政部長

本日出席の市職員の紹介をします。

(市職員自己紹介)

◎企画財政部長

次第の4、会長及び副会長の互選についてです。会長及び副会長については、お手元に配付の資料1、小金井市行財政改革審議会条例の第5条第1項の規定により委員の互選となっています。特に異議がなければ、事務局でこのまま互選に関する議事を進めさせていただきます。

(「異議なし」の声)

◎企画財政部長

はじめに、会長の互選についてお諮りします。なお、会長、副会長の選出方法については、特段異議がないようであれば、指名推選としたいと思います。

(「異議なし」の声あり)

◎企画財政部長

どなたか推薦いただけますか。

◎大谷委員

審議会の前身の市民会議で、私は会長を務めさせていただいたが、当時副会長であった黒崎委員が実質的な議論の取りまとめをしていただき、最終的な報告ができたと思っています。その様な経過や、小金井市に精通して、様々な事例についてもよく御存じであることから、黒崎委員が適任かと思えます。

◎企画財政部長

大谷委員から黒崎委員にという発言がありました。皆様、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

◎企画財政部長

異議がないようなので、黒崎委員に会長をお願いしたいと思います。黒崎委員、どうですか。

◎黒崎委員

了解しました。

◎企画財政部長

会長に指名された黒崎委員に、就任の挨拶を賜りたいと思いま

す。

(黒崎会長あいさつ)

◎企画財政部長 次に、副会長の互選に移る。指名推選とさせていただくが、どなたか推薦をお願いします。

◎会長 行政学の専門的な見地からアドバイスいただきたく、また、会長の私をサポートしていただきたく、大谷委員をお願いしたいです。

◎企画財政部長 黒崎会長から、大谷委員という発言がありました。皆様、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

◎企画財政部長 異議がないようなので、大谷委員に副会長をお願いしたいと思います。大谷委員、どうですか。

◎大谷委員 了解しました。

◎企画財政部長 副会長に選出された大谷委員に、就任の挨拶を賜りたいと思います。

(大谷副会長あいさつ)

◎企画財政部長 会長、副会長が決まったので、名簿と席順について確認したいと思います。

名簿と席順は、抽選等により入れ替えるという方法もありますが、皆様の了解をいただけたら、名簿は会長、副会長を1番、2番とし、以下は現在の名簿をそのまま繰り上げさせていただきたいです。

また、席順についても、黒崎委員、大谷委員の空いた席をそのまま詰めていただき、正式な席次とさせていただきたいがどうですか。

(「異議なし」の声あり)

◎企画財政部長 そのとおり確定します。

ここから先は、黒崎会長に議事の進行をお願いします。

◎会長 それでは、審議に入ります。次第5、会議の運営について、事務局から説明をお願いします。

◎事務局 資料3を使って説明します。まず、行政経営という言葉になじみのない方もいるかと思えます。行政経営とは、行政の運営に民間の経営手法を取り入れ、市民の福祉の増進という成果に重点を置いて行政活動を行うことであり、本市でもこのための必要な経営資源の確保や、適正配分等を目的とした行財政改革という経営

戦略を立て、これを推進しています。

行財政改革は、時代に即した行政需要に的確に対応し、制度や組織、運営のあり方を見直し、行財政運営の適正化・効率化を図るものであり、本市の行財政改革の歩みは、平成9年に行財政大綱を策定して以来、約四半世紀にわたり、整理削減の歴史でもありました。

本市では、昭和50年代に決算における人件費の割合が40%を超え、全国1,700以上ある自治体の中で、7年連続、都合8回もワーストワンとなり、その後も全国で初めて退職手当債を発行し、経常収支比率でも2年連続ワーストワンとなるなど、まちづくりに全く予算を回すことができないほどの財政状況が続きました。このため、特に職員数の削減が、行財政改革において何より重要と考えられ、これに全力で取り組んできました。その結果、現在はまちづくりも進み、財政状況も他市平均に近づきましたが、本市は地域特性から、個人市民税に頼った歳入構造であるため、人口減少社会の影響をより強く受けることが見込まれており、財政状況は引き続き厳しい状況が続くと考えられています。

そこで、令和4年8月に策定した行財政改革2025は、このような背景を踏まえつつ、国からの権限移譲や多発する自然災害、未知のウイルス対策などにより増加し続ける行政へのニーズと、その反面、既に底をついたとされている職員数や人口減少社会による経営資源の減少を踏まえ、削減ありきの行財政改革ではなく、市の制度や組織、運営のあり方そのものを大胆に見直すことに重点を置いた、全く新しい行財政改革として策定しました。

具体的には、自治体DXの推進、公民連携・アウトソーシングの推進、公共施設マネジメントの推進を柱に据え、スマート自治体への転換と、多様な主体による市民の福祉の増進を目指す行財政改革としました。

今後、行財政改革審議会では、この重点取組を中心に、行財政改革2025の進捗状況を報告させていただき、御意見や御提案をいただきたいと考えています。

続いて、資料の4を使って説明します。

はじめに、行財政改革審議会の所掌について説明します。行財政改革審議会は、資料1の小金井市行財政改革審議会条例第2条に定めのとおり、行財政改革の推進に関する重要事項について、

市長の諮問により調査審議し、その結果を答申するほか、当該事項について市長に建議することができることとなっています。

そこで本審議会では、市が通常提案する行財政改革の推進に係る協議事項や報告事項について御審議いただくとともに、行財政改革の計画策定等の特に重要な事項について、市長から諮問させていただき、答申をいただくこととなります。

なお、市には、市長や部長職で構成する行財政再建推進本部という行財政改革審議会の意見や答申などを踏まえ、最終的な行財政改革の意思決定等を行う組織があります。

次に、会議録作成の基本方針についてです。会議録は、資料5の市民参加条例施行規則第5条の規定により、全文記録、発言者の発言内容ごとの要点記録、会議内容の要点記録の3種類が選択することができます。

そこで、本審議会の会議録は、2番目の、発言者の発言内容ごとの要点記録を取らせていただきたいと思いますと考えています。会議録の作成方法については、毎回、会議をICレコーダーで録音し、速記会社が全文を起こし、事務局が要点にまとめて、第1稿を作成します。この第1稿を各委員に配付するので、発言部分について各自確認いただき、修正を反映したものを事務局が取りまとめて第2稿とする。これを会長に確認いただいた後、確定版として公開の手续に進めさせていただきたいと考えています。

公開後に万が一、発言内容等に訂正がある場合には、次回の会議で発言いただければ修正します。

確定した会議録は、小金井市のホームページに掲載すると共に、小金井市の情報公開コーナー等に据え置き公開します。

ただし、会議を非公開とした場合は、市民参加条例施行規則第4条の規定により、この部分については非公開にする場合があります。

次に、審議会については、小金井市行財政改革審議会条例第8条の規定により、原則公開とします。

また、審議会は、資料6、小金井市附属機関等の会議に関する傍聴要領により、傍聴を原則可能とします。なお、傍聴席には傍聴者の意見、感想等を記載する用紙を設置し、傍聴者から意見、感想等の提出があった場合は議論の参考にするため、次回の会議までに委員の皆様へ情報提供します。

以上が、行財政改革審議会の運営等に係る事務局案です。  
審議のほどよろしくお願いいたします。

◎会長

一旦ここで質疑がなければ、資料の7番の説明も先にお願ひします。

◎事務局

それでは今後の主な審議項目について、資料7により説明します。

本年度及び令和5年度の審議内容の1点目は、定員管理計画の策定についてです。地方自治体は、常にその組織及び運営の合理化に努め、その規模の適正化を図らなければならず、地域の実情を踏まえ、自主的・計画的に適正な定員管理に取り組むことが求められています。

令和4年8月に策定した行財政改革2025の趣旨と、その後の定年引上げや公立保育園の方向性等を踏まえた新たな定員管理計画を策定するため、その方向性等について意見等をいただきたいと考えています。

2点目は、組織改正の検討についてです。現在の組織の不都合や、行財政改革2025で目指すスマート自治体への転換等を踏まえ、新庁舎建設を見据えた組織改正の検討の方向性について、意見をいただきたいと考えています。

3点目は、財政規律等の策定についてです。小金井市行財政改革2025では、行財政運営上で注意すべき財政指標とその適正な基準等を定め、課題の明確化と解決につなげることを目指しています。この財政規律ガイドラインの策定について、意見をいただきたいと考えています。

4点目は、行財政改革2025の進捗管理についてです。小金井市行財政改革2025では、3つの重点取組である自治体DXの推進、公民連携・アウトソーシングの推進、公共施設マネジメントの推進について、アジャイル手法により3カ月に1度、定性的な評価による進捗管理を行うこととしており、その内容について審議会へ報告し、意見をいただきたいと考えています。

5点目は、DX推進全体方針に係るアクションプランについてです。行財政改革2025の第1の柱である自治体DXの推進について、令和4年10月にDX推進全体方針を策定したが、この方針に基づいた具体的な取組に係る進捗管理のツールとなるアクションプランの内容等について、意見をいただきたいと考えていま



す。

6点目は、そのほかの個別取組についてです。行財政改革2025の個別取組のうち、前述以外の行政経営担当が行う取組について、適宜意見を伺いたいと考えています。

次に、令和6年度の審議予定です。1点目は、次期行財政改革の計画策定に係る諮問事項の検討についてです。小金井市行財政改革2025の計画期間は、第5次小金井市基本構想・前期基本計画における行財政改革の方針を定めるものとして、前期基本計画の計画期間に合わせ令和7年度までとしています。したがって、令和8年度から令和12年度の後期基本計画における行財政改革の方針については、1年半程度前の令和6年度中から策定作業を開始する必要があることから、第1期行財政改革審議会の後半では、新たな行財政改革の方向性等を審議いただきたいと考えています。

このように、審議会の皆様には令和7年1月の任期終了までに、様々な行財政改革の推進に係る事項について審議いただきたいと考えています。

ただし、ただ今申し上げた全てを任期中に審議いただけるかどうかや、順番などについては今後の進捗によるので、本日はあくまで頭出しと理解いただきたいと思います。

◎会長

審議事項についても説明をお願いし、その後、質疑としたいと思います。

◎事務局

資料8により説明する。本審議会は、第2回会議を今年度3月の下旬に開催したいと考えています。

また、令和5年度と令和6年度は、それぞれ3回程度の開催を予定しており、令和5年度は行財政改革2025の推進に関する検討を、令和6年度は次の行財政改革の計画の方向性について諮問をさせていただき、その項目についての検討をいただく予定です。

◎会長

それでは質疑に入ります。初めに私から質問させていただきます。資料7と資料8の説明がありましたが、資料7と資料8で項目が一致していない理由を説明してください。

◎事務局

スケジュールをご覧いただくと、令和4年度と令和5年度とで主に行財政改革2025に関する項目を審議いただきたいと考えています。令和6年度は次の行財政改革の検討のため、諮問をさ

せていただくことを想定しています。なお、令和4年度及び令和5年の行財政改革2025の検討は先ほど説明したとおり、順番や全てを実施できるかについて流動的な部分もあります。そのような中で最初に取り組みさせていただきたいと考えているのが、定員管理計画です。この定員管理計画については、令和5年4月以降の計画が現在存在しないため、早急に作成する必要があります。この間、様々な要因で事務を進められなかったため、令和4年3月に第2回の審議会を開催させていただき、定員管理計画の方向性について意見をいただきたいと思います。

また、行財政改革2025の進捗管理、DXのアクションプラン等についても、常時動きがある内容なので、審議内容として、都度入れたいと考えています。それ以外、組織改正の検討や財政規律等についても順次、審議いただく予定です。

◎会長

資料7は実施順ではない旨、理解しました。他に質問はありますか。

会議の開催や運営方法についても説明がありましたが、ウェブ会議も想定はされていますか。

◎事務局

ウェブ会議での開催は、実施できる体制は整えています。

◎是枝委員

4月以降の審議会開催日は、どれぐらい前に確定しますか。

◎事務局

審議会日程は、資料8のとおり概ね定めさせていただいていますが、具体的な日にちについては会長と相談の上、開催月の1カ月前頃には調整の連絡をさせていただきます。

◎是枝委員

了解しました。

◎横須賀委員

時間帯は、今後も夜の時間帯の実施ですか。

◎事務局

お勤めされている方もいることから、基本的には19時からと考えています。

◎横須賀委員

個人的には日中の方が都合はよいが、了解しました。

◎事務局

場合によって、ウェブ対応を個別でも可能です。

◎会長

土日の実施の可能性はありますか。

◎事務局

週休日での実施予定はありません。

◎会長

会議録については、全文記録、発言者の発言内容ごとの要点記録、会議内容の要点記録の方法がありますが、事務局提案の発言者の発言内容ごとの要点記録でよろしいですか。

(「異議なし」の声あり)

◎会長

そのように決定します。

- ◎副会長 要点記録の場合は、発言者の名前が出るのか確認したいです。
- ◎事務局 前身の行財政改革市民会議の会議録は名前を出していました。
- ◎会長 市の他の審議会では、どのような形を取っていますか。また、事務局の個人名は出ますか。
- ◎事務局 委員名については、多くの場合名前が出ています。事務局については、個人名は出さず事務局で統一することが多いです。
- ◎会長 会議録は、発言者ごとの発言の要旨を会議録とし、その場合、発言者の名前を出すことでよろしいですか。
- （「異議なし」の声あり）
- ◎深澤委員 審議予定の項目について説明がありましたが、それぞれの項目について行程管理表を作成し、進行管理する方法はとれないですか。
- ◎会長 審議項目について行程管理をしてはどうかという意見です。審議の進行状況を一覧表で見える化した方が、進捗管理に役立つという意見をいただきました。
- ◎事務局 現段階で、行程管理表の作成の予定はありませんが、意見を踏まえ、会長、副会長と相談し検討します。
- ◎八木委員 前身の市民会議のときの議論を踏まえると、うまく行程どおり議論が進む場合もあれば、そうでない場合もあります。行程どおり進むような項目については見える化することが望ましいが、全てを行程管理表に落とすことは馴染まないと考えます。
- ◎会長 お二人から意見をいただいたが、審議会の進行管理をどのようにしますか。
- ◎事務局 令和6年度年以降の、次の行財政改革の計画策定に関する審議の際には、行程管理表は当てはめやすいと考えますが、令和4年度、令和5年度の審議事項は流動的な部分が多いため、今後検討してみたいと思います。
- ◎会長 よろしくをお願いします。他にありますか。特にないようなので次第のその他をお願いします。
- ◎事務局 本日事務局からはその他の議題はありません。
- ◎会長 次回の日程を本日決められるようであれば、この場で皆さんの都合を伺って決めたいと思います。3月27日月曜日という提案がありますがどうですか。

**【日程調整】**

- ◎会長 日程調整に感謝します。次回日程は3月27日の同時間で確定と

します。

◎事務局

お忙しいところ恐縮ですが、事前配付させていただいた、行財政改革2025と行財政改革市民会議の答申、DX全体方針の3点については是非読んでおいていただきたいと思います。今後、この情報を共有させていただいた上で、議論を進めさせていただきたいと思います。

◎会長

本日の審議会はこれにて終了とします。

(午後8時03分閉会)